



---

## UN GHS 改訂 3 版

次に従う: 国連 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS): 改訂 3 版

### 2.1 物質または混合物の分類

UN GHS ・有害でないと見なされる製品

### 2.2 ラベル要素

UN GHS

危険有害性情報・有害でないと見なされる製品

#### 注意書き

予防・眼および顔面の保護具(保護眼鏡、保護面)を着用する。  
物質が浸透しない保護手袋を着用する。

応急措置・皮膚に付着した場合: 十分な量の石鹼と水で洗うこと。

保管/廃棄・涼しく乾燥した場所に保管すること。

### 2.3 その他の危険有害性

UN GHS ・有害でないと見なされる製品

---

## 米国(US)

次に従う: 米国労働安全衛生局(OSHA) 29 CFR 1910.1200 危険有害性周知基準(HCS)

### 2.1 物質または混合物の分類

OSHA HCS 2012 ・有害でないと見なされる製品

### 2.2 ラベル要素

OSHA HCS 2012

### 2.3 その他の危険有害性

OSHA HCS 2012 ・有害でないと見なされる製品。

---

## 第 3 節 組成および成分情報

### 3.1 物質

### 3.2 混合物

化学名	特定名	%	有害	規則/指令に従う分類
ポリシロキサン混	自社開発	> 98%	該当せず	EU CLP: UN GHS 改訂 3 版:

化合物				<b>OSHA HCS 2012:</b>
キシレン	< 2%	該当せず		<b>EU CLP:</b> 皮膚刺激性 2、H315、急性毒性 4、H312、急性毒性 4、H332、引火性の高い液体および蒸気 3、H226 <b>UN GHS 改訂 3 版:</b> 皮膚刺激性 2、眼刺激性 2、吸入すると有害 2、急性毒性 経口 5、急性毒性吸入 4、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 呼吸器への刺激のおそれ、引火性の高い液体および蒸気 3、生殖毒性 1B、水性急性 2 <b>OSHA HCS 2012:</b> 皮膚刺激性 2、眼刺激性 2、急性毒性吸入 4、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 眠気またはめまいのおそれ、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 呼吸器への刺激のおそれ、引火性の高い液体および蒸気 3、生殖毒性 1B

## 第 4 節 応急措置

### 4.1 応急措置の説明

- 吸入** ・吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚** ・石鹼と真水で身体に付着した場所を洗うこと。皮膚刺激が生じた場合: 医者 の診察 / 手当を受けること。
- 眼** ・眼を開いたまま 15~20 分間、水でゆっくり丁寧に洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合には、最初の 5 分後に外し、その後も水洗いを続けること。
- 経口摂取** ・飲み込んだ場合には、直ちに中毒センターまたは医師に電話し、処置について助言を求めること。

### 4.2 最も重要な急性と遅発性両方の症状および影響

- ・入手できるデータはない

### 4.3 速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

健康への潜在的な影響については第 2 節参照。

## 第 5 節 火災時の措置

### 5.1 消火剤

- 適切な消火剤** ・入手できるデータはない
- 不適切な消火剤** ・入手できるデータはない。

### 5.2 物質または混合物から生じる特定の危険性

- 異常火災および爆発の危険性** ・入手できるデータはない
- 有害な燃焼生成物** ・入手できるデータはない

### 5.3 消防士に対する助言

- ・入手できるデータはない

## 第 6 節 漏出時の措置

### 6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

- 人への予防措置** ・入手できるデータはない

緊急措置 ・入手できるデータはない

## 6.2 環境上の予防措置

・入手できるデータはない

## 6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

封じ込め／浄化方法・適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

## 6.4 参考となる他の節

・入手できるデータはない

# 第7節 取り扱いおよび保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

取扱い・良好な安全および産業衛生基準を使用すること。

## 7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

保管 ・入手できるデータはない

## 7.3 特定最終用途

・入手できるデータはない

# 第8節 ばく露防止および保護措置

## 8.1 管理パラメーター

ばく露限界／ガイドライン			
	結果	米国労働安全衛生局(OSHA)	英国
キシレン (1330-20-7)	生物学的モニタリングガイダンス値	未確定	650 mmol/mol クレアチニン 培養液:尿 時間:シフト後 パラメーター:メチル馬尿酸
	時間加重平均(TWA)	100 ppm TWA、435 mg/m <sup>3</sup> TWA	未確定

## 8.2 ばく露防止

工学的対策／管理方法

・入手できるデータはない

個人用保護具

絵表示



呼吸器

・入手できるデータはない

- 眼／顔  
手  
皮膚／身体  
一般的な産業衛生面の考慮事項  
環境ばく露防止
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
  - ・適切な手袋を着用すること。
  - ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
  - ・労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。
  - ・入手できるデータはない

## 第 9 節 物理的および化学的性質

### 9.1 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物質の説明			
物理的形態	固体		
一般的性質			
融点／凝固点	> 60 °C (> 140 °F)	比重／相対密度	= 0.9 水=1
粘性	> 600 センチポアズ (cPs、cP) または mPas (75 °C) (167 °F)		

### 9.2 その他の情報

- ・入手できるデータはない

## 第 10 節: 安定性および反応性

### 10.1 反応性

- ・入手できるデータはない

### 10.2 化学的安定性

- ・入手できるデータはない

### 10.3 危険有害反応性の可能性

- ・入手できるデータはない

### 10.4 避けるべき条件

- ・入手できるデータはない

### 10.5 混触危険物質

- ・入手できるデータはない

### 10.6 有害な分解生成物

- ・入手できるデータはない

## 第 11 節 有害性情報

## 11.1 毒物学的作用に関する情報

### 健康への潜在的な影響

#### 吸入

急性(即時)・入手できるデータはない

慢性(遅発)・入手できるデータはない

#### 皮膚

急性(即時)・入手できるデータはない

慢性(遅発)・入手できるデータはない

#### 眼

急性(即時)・入手できるデータはない

慢性(遅発)・入手できるデータはない

#### 経口摂取

急性(即時)・通常の使用条件においては、健康への影響は予想されない。

慢性(遅発)・入手できるデータはない

## 第 12 節 環境影響情報

### 12.1 毒性

- ・ 入手できるデータはない

### 12.2 残存性および分解性

- ・ 入手できるデータはない

### 12.3 生体内蓄積の可能性

- ・ 入手できるデータはない

### 12.4 土壌中の移動性

- ・ 入手できるデータはない

### 12.5 PBT(難分解性、蓄積性、毒性を有する物質)および vPvB(高難分解性・高蓄積性を有する物質)の評価結果

- ・ 入手できるデータはない

### 12.6 そのほかの悪影響

## 第 13 節 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物の処理方法

製品廃棄物 ・内容物および／または容器を、国際、国、都道府県、および／または市町村の規則に従って廃棄すること。  
包装材料の廃棄 ・内容物および／または容器を、国際、国、都道府県、および／または市町村の規則に従って廃棄すること。

## 13.2 その他の情報

- ・環境への放出を防止すること。

## 第 14 節 輸送上の注意

### 14.6 使用者のための特別予防措置

- ・入手できるデータはない

### 14.7 MARPOL 条約の付属書類 II および IBC Code に従う ばら積み輸送

- ・入手できるデータはない

### 14.8 その他の情報

DOT

- ・米国運輸省 (DOT) 輸送規則によれば、物質は有害でないと見なされる。
- ・DOT 輸送規則によれば、物質は有害でないと見なされる。

## 第 15 節 適用法令

### 15.1 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康、および環境に関する規則／法律 SARA(スーパーファンド修正及び再授權法) 有害性分類

- ・入手できるデータはない

### 15.2 化学物質安全性評価

- ・入手できるデータはない

## 第 16 節 その他の情報

改訂日 ・2018 年 3 月 22 日

最終改訂日 ・2018 年 3 月 22 日

作成日 ・2018 年 3 月 22 日

責任についての注意事項／  
声明 ・この MSDS は、信頼できると考えられる情報に基づいていますが、新しい情報を入手できた時に変更される場合があります。すべての使用条件を予想することは不可能なので、安全対策がさらに必要になる場合があります。この物質の使用は、Techneglas 社の管理下にはないので、各使用者は、現地の法律および規則に基づき、この物質の各自の特定用途において、この物質の安全かつ適切な取り扱いに関する各自の判断に対して責任を負います。この MSDS に引用されている法律および規則は、包括的であることを意図していません。この製品を使用する前に、現地の法律および規則をすべて確認してください。